

# 1 南部地域協力ネットワーク設立までのあゆみ

## (1)H25～26年度 (仮称)地域協議体南部モデル地区会議開催状況

年度	回数・日時	場所	内容	概要	参加団体数
H 25 年 度	第1回 11/14(木) PM7時～9時	田無庁舎 202・203 会議室	全体でのトーク 「各団体からの地域課題の 出し合い」	各参加団体が自己紹介をしながら、団体・組織の立場で、南部地域での「地域課題」と感じることを発表し合った。 「高齢化」「若い世代に地域活動に参加してほしい」「学校現場での交通安全・防犯の大切さ」等のキーワードが抽出された。	24団体 (27人)
	第2回 11/28(木) PM7時～9時	田無庁舎 502・503 会議室	ワークショップ 「防災」	参加団体が分野毎の4つのグループに分かれ、地震が起きた場合の「発生時」「直後」「3日後」の課題抽出を、ブレインストーミング法で討議した。公助が届くまでの自助・共助の大切さが理解できた。(ファシリテーターは、地域コミュニティ検討委員会委員長の伊村武蔵野大学教授)	20団体 (22人)
	第3回 1/16(木) PM7時～ 8時40分	田無庁舎 202・203 会議室	ワールド・カフェ方式 「団体交流会」	ワールド・カフェ方式により、団体交流会を行い、フリーディスカッションをした。 「共助が大切」「コミュニケーションが大切」「市民団体の問題点」「問題点解決には組織間連携が必要」等の結果発表をし合った。	15団体 (17人)
H 26 年 度	第4回 9/25(木) PM7時～9時	田無庁舎 502・503 会議室	グループワーク 「南部の地域課題の抽出」	参加団体が地域別の3グループに分かれ、ブレインストーミング法でグループ討議を行い、結果を発表し合った。 「高齢者の見守り」「地域の繋がりの必要性」「空き家活用」等の問題把握ができた。	19団体 (21人)
	第5回 10/10(金) PM7時～9時	インギビル 第2・第3 会議室	グループワーク 「南部地域をこんなまちにしたい～ その実現のために各団体ができる ことは?」	参加団体が地域別の3グループに分かれ、ブレインストーミング法でグループ討議を行い、結果を発表し合った。 「子どもと高齢者の交流できるまち」「顔見知りが増山できるまち」「学校を活用したまちづくり」等の目標が出た。	19団体 (20人)
	第6回 11/11(火) PM5時45分～ 9時	調布市富士見 地域福祉 センター	学習会 「調布市の石原小学校地区協議会」 の視察	住民自治組織として15年の歴史と実績がある調布市の石原小学校地区協議会の会議を視察し、その活動目的や活動の効果、運営方法等を学んだ。	14団体 (20人)
	第7回 12/9(火) PM7時～ 9時10分	田無庁舎 502・503 会議室	全体でのフリートーク 「学習会の報告・(仮称)地域協議体南 部地区会議について」	第6回の調布市の地区協議会視察の報告と感想を発表し合うとともに、当市の(仮称)地域協議体についての意見や希望等についてフリートークを実施した。 また、参加団体を対象に(仮称)地域協議体についてのアンケートも実施した。	18団体 (19人)

